

とちぶん会報

No.59

2020年3月15日

栃木県文芸家協会 発行人 小林 守城
事務局／栃木県下都賀郡壬生町中央町16-18 三上博史 方
〒321-0226 TEL090-9318-2492

朝明第8号合評会・新春懇親会を開催

1月19日(日)午後1時30分から、宇都宮市のホテル丸治において、朝明第8号合評会・新春懇親会が開催されました。

合評会は24名の出席者があり、福田三男副会長の挨拶の後、三上博史朝明編集委員長の進行により意見が交わされました。まず配付資料に基づいて、三上委員長から、タイトル・本文等の訂正についての報告があり、次に、①装丁・表紙、②特集「令和一捨てられるもの捨てられないもの」、③部門別作品、④編集及びその他全体的な評価・印象等の各項目に沿って説明がなされました。

出席者からの意見は、詩部門のページの余白が大きいことから次号において割付を含めて見直しが必要なのではないか、電子データによる作品については提出要領に従って送信するようパソコンスキルのレベルを上げていただきたい、等の発言がありました。

また、今回の大幅なページ数増により印刷経費の予算超過となったが、協会を適切に管理運営できる目安となる会員数(100名前後)、新会員を勧誘する際の条件についての積極的な議論が交わされました。

最後に、出席者が一堂に会して記念写真を撮り終了となりました。

新春懇親会には21名の参加があり、3つの円卓を囲んで親睦を深めました。今年度入会、再入会した方の参加もあり大いに盛り上がりました。

※ 合評会において配付された資料「朝明第8号への意見・感想」を同封しましたので、参加できなかった方はご覧になってください。

※ 朝明第8号の訂正について

- ・目次・詩の上段4行目／[高原の夏]は[高原の夜]に訂正。
- ・37ページ／タイトルは[「イケメン」「イクメン」次は?]に訂正。本文の1行目に[事ある毎に浮かんでくる川柳がある。]を挿入。
- ・134ページ・下段19行目／[幸な]は[幸(さきわ)う]に訂正。
- ・154ページ・1行目／[毎年八月、とりわけ十五日前後に戦争に関する本を一冊]を削除。

役員会を4月14日(火)に開催します

栃木県文芸家協会役員 各位

栃木県文芸家協会会長 小林 守城

栃木県文芸家協会規約第11条の規定に基づき、栃木県文芸家協会役員会を以下のとおり開催いたします。役員においては、万障お繰り合わせの上ご出席ください。

役員に同封した出欠の返信ハガキを4月6日(月)までに事務局あて必ず送付してください。

1. 日 時 令和2年4月14日(火) 午後1時30分～3時
2. 場 所 ホテル丸治[宇都宮市泉町1-22/TEL 028-621-2211]
3. 議 題 (1) 令和2年度栃木県文芸家協会総会審議案件について
(2) その他

令和 2 年度総会・懇親会を 5 月 17 日(日)に開催します

栃木県文芸家協会会員 各位

栃木県文芸家協会長 小林 守城

栃木県文芸家協会規約第 11 条の規定に基づき、令和 2 年度栃木県文芸家協会総会を以下のとおり開催いたします。会員においては、万障お繰り合わせの上ご出席くださるようご案内いたします。

1. 日 時 令和 2 年 5 月 17 日(日) 午後 1 時 30 分～2 時 40 分
2. 場 所 ホテル丸治[宇都宮市泉町 1-22/TEL 028-621-2211]
3. 議 題 (1) 令和元年度栃木県文芸家協会事業報告について
(2) 令和元年度栃木県文芸家協会収支決算報告について
(3) 令和 2 年度栃木県文芸家協会事業計画について
(4) 令和 2 年度栃木県文芸家協会収支予算について
(5) 任期満了に伴う役員改選について
(6) その他(夏季講演会、朝明第 8 号の編集方針等)

○ 総会終了後(2 時 45 分頃～)、懇親会(会費 5,000 円・当日支払い)を開催します。

※ 総会・懇親会の出欠については、同封した返信ハガキを 5 月 8 日(金)までに事務局あて必ず送付してください。

会員から寄付がありました

小説・評論部門の石川文之進様から当協会への寄付の申し出があり、1 月 20 日(日)の新春懇親会において、寄付金が受け渡されました。今回の有り難いご寄付は協会の安定的な運営のために大切に使用させていただきます。

石川文之進様、誠にありがとうございました。

令和 2 年度年会費の納入について

令和 2 年度の年会費(6,000 円)納入を通知します。今回同封した所定の郵便局振替用紙にて、5 月末までに納入をお願いいたします。なお、振替払込受領証は領収書となるので大切に保管してください。

§ 寄贈書籍の紹介 §

- 「川柳の神様 I - 秀句の誕生と鑑賞 -」 三上博史著／発行所・新葉館出版／発行日・2019 年 12 月 9 日[著者からの寄贈]
 - ・著者が 20 数年にわたって、川柳句集やアンソロジー、川柳大会誌等からピックアップした秀句を解釈・鑑賞してきたもので 120 句が載せられている。現代川柳とはこういうものだという紹介にもなっている。なお本書はシリーズ化されて、今後 II・III の刊行が予定されている。
- 「作歌初心-横山岩男評論集-」(国民文学叢書第 583 篇)横山岩男著／発行・新星書房／発行日・2019 年 12 月 24 日[著者からの寄贈]
 - ・作歌を始めたころに立ち戻り、素直な心で作歌に向かいたい思いから著わした第三評論集。「窪田空穂」「松村英一」等に関する研究、「自然の中の生」「歌心の醸成」等の評論、随想、追想その他から成り立っている。244 ページ

§ 新会員紹介 §

- ・川柳部門 石寄 敬子[宇都宮市]
- ・詩部門 こやま きお[宇都宮市]、貝塚津音魚[大田原市]

* ∞ * 事務局通信 * ∞ *

このたび詩及び川柳部門に新たな会員が入会し、協会会員数が 100 名となりました。再び 100 名の大台に乗ることができました。会員からの協力のおかげです。ありがとうございました。

事務局を担当して任期の 2 年になるとうとしています。何とかここまでやって来ることができました。周囲からの温かい目とご協力のおかげです。関係する皆さんに感謝しています。(三上)